

平成29年12月14日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成29年度 第1回 三部会合同部会

◆ 12月14日(木)、美しい多摩川フォーラムの平成29年 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成29年12月14日(木) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 3F サンマルコ
- ・出席者：副会長、部会長、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

◎ 三部会合同部会の概要

1. 開会

2. 副会長・部会長挨拶

3. 講話

テーマ：「河川愛護月間 川を歩こう」

講師：東京都西多摩建設事務所 管理課

課長代理(河川管理担当) 菊池 文昭 様

4. 経過報告

- (1) 多摩川“水”大学講座開催(10/20、11/17 最終回)【資料1】
- (2) 多摩川流域魅力体験事業・事業運営連絡協議会第3回会議開催(10/31)【資料2】
- (3) 第10回・多摩川一斉水質調査レポート完成(11/1)【資料3】
- (4) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力(5/27～11/4)【資料4】
- (5) 平成29年度・第1回運営委員会開催(11/9)【資料5】
- (6) 第9回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催(11/11、11/18 雨天中止)【資料6】
- (7) 大田区より第10回・寄付金の贈呈(11/21)
- (8) 多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー(11/25)開催【資料7】
- (9) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催(12/9)【資料8】
- (10) 多摩川流域魅力体験事業・事業運営連絡協議会第4回会議開催(12/19)

5. 意見交換

- (1) 平成30年度事業計画骨子(事務方素案)の主な実施内容について【資料9】
- (2) ドローンによる多摩川空撮映像の活用について
- (3) その他

6. 副会長・部会長総括

7. 閉会

1. 開会（初参加者紹介および資料確認）

（事務局）

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成29年度第1回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思います。始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日は、小野リサさんによるボサノヴァバージョンでお聞き下さい・・・。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。・・・

（大田区 環境清掃部 環境対策課 環境推進担当係長 背黒 勝博 様）

背黒と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

（大田区 環境清掃部 環境対策課 環境推進担当 大森 貴広 様）

大森と申します。背黒の部下となります。よろしくお願いいたします。

（山梨県 丹波山村 振興課 主事 船木 隆嘉 様）

船木と申します。多摩川源流の丹波山村よりまいりました。丹波山村には冬が訪れ、霜が降りており、非常に寒くなってきました。本日はよろしくお願いいたします。

（藍澤証券株式会社 ソリューション第一部 サブマネージャー 白石 浩一 様）

白石と申します。藍澤証券では、地域活性化に対する取り組みに力を入れており、ソリューション部が中心となっています。私の住まいは用賀で、二子玉川の隣の駅です。多摩川の恩恵を受けておりますので、これからも美しい多摩川フォーラムに貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。

（大塚 克也 様）

大塚と申します。都内で教諭をしています。6年前、渡邊部会長からの紹介で、多摩川の水質環境について、一緒にやっておりますが、多摩川は素敵な所だと感動しております。これからも色々よろしくお願いいたします。

（東日本電信電話(株) 東京西支店ビジネスイノベーション部

第一バリュークリエイティブグループバリュークリエイティブ担当グループ長 道下 勝志 様）

道下と申します。西支店は立川にございます。分からないことだらけですが、一緒に勉強していきたいと思いますので、本日はよろしくお願いいたします。

(東日本電信電話(株) 東京西支店ビジネスイノベーション部

第一バリュークリエイイトグループ バリュークリエイイト担当課長 横地 麻智子 様)

横地と申します。立川に初期採用され、25年が経ちますが、色々転々とし、今年また立川に戻ってきました。年に1回、クリーンキャンペーンに参加させていただいておりますが、これを機に、皆さんと一緒に色んなことができるかなと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は、細野会長、薮田部会長が出張により欠席となりました。それでは、小倉副会長、渡邊部会長に開会のご挨拶をよろしく願います。

2. 部会長挨拶

(小倉副会長)

皆さんこんにちは。12月も半ばになり、だいぶ寒くなりました。この寒さは日本だけではなく、北半球で起こっていて、北極振動と言われ、地球規模の気候の変動の影響だと、昨日のテレビで伝えていました。今日の部会は、講話のほか、活動報告、質疑応答ということで、時間が限られておりますが、闊達なご意見を願います。

(渡邊部会長)

皆さんこんにちは。今年も残すところわずかとなり、お忙しい中ご出席をいただき、有り難うございます。今年の部会も、今日で最後です。今年一年を私なりに振り返ると、アユの遡上を見たいと思い、4月13日に、山崎副部会長のご紹介で、調布取水堰に行ってきました。アユがびよんびよん跳ねているところを写真におさめることができました。漁業組合や釣り人は、青梅のほうまでアユに遡上してほしいと願っていますが、なかなかあがってきません。山崎副部会長によれば、堰に問題があるのではないかとのことでしたので、4月22日、今度は堰を見にいきました。また、11月25日には多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリーがあり、羽村の堰からくじら運動公園までの9.3キロを歩きました。その間に昭和用水堰と日野用水堰があり、実際に見ることができました。

後ほど、多摩川フォーラム10周年を記念したドローンによる空撮映像の紹介がありますが、山梨県から羽田まで、多摩川全体の映像を見ることができます。来年からは、20年に向けて、さらに素晴らしいフォーラムになるよう、皆さんのご協力をいただきたいと思います。それでは、事務局に進行をお願いします。

3. 講話

(事務局)

はい、今日は、「河川愛護月間 川を歩こう」というテーマで、講師に東京都西多摩建設事務所 管理課 課長代理（河川管理担当）の菊池文昭様をお迎えし、お話をいただきます。

ここで、講師の菊池文昭様のプロフィールをご紹介します。菊池様は、昭和51年に入都、平成元年に建設局に配属され、建設事務所、公園緑地事務所の仕事に携わり、平成29年4月から河川管理担当になり、現在に至っております。

菊池様からお話をいただいた後、皆様からご質問がありましたら、建設局建設技術マイスターの樋高政司様からご回答いただきます。樋高様のプロフィールをご紹介します。樋高様は、昭和41年に東京都に入都し、平成20年に退職するまで、43年間建設局で河川・道路等の設計構築に携わってきました。現在は東京都西多摩建設事務所管理課河川管理係で、非常勤として河川占用等の技術的審査に携わる一方、建設局建設技術マイスターとして次世代職員の育成を担っています。建設技術マイスターは、建設局の職務に係る特定の優れた技術力を局全体で共有し活用することによって、OJTを横断的に行う環境を構築し、組織として技術を効率的かつ効果的に継承し、局事業の円滑な遂行に資する制度です。樋高様は、河川分野における経験及び知識から、建設技術マイスターとして 建設局長の認定を受けています。

それではよろしく願いいたします。

(東京都西多摩建設事務所 管理課 課長代理（河川管理担当）菊池 文昭 様)

ただいまご紹介いただきました、菊池と申します。本日は、お招きいただき、また、このような場を与えていただいたことに感謝いたします。今年の4月から西多摩建設事務所管理課で河川管理を担当しております。よろしく願いいたします。

本日のテーマであります「河川愛護月間 川を歩こう」ですが、東京都では、都民の川への関心を深めてもらおうと、河川に関する普及・啓発を行っております。毎年7月に実施している「河川愛護月間」には、後でビデオを見ていただきますが、「川を歩こう」や施設見学会、パネル展示、フォトコンテスト、シンポジウム、そして、美しい多摩川フォーラムの皆さまにもご協力いただいております、河川の清掃活動等を実施しております。

ビデオについて簡単にお話させていただきます。西多摩建設事務所の「川を歩こう」は、多摩川で実施しております。今年は、7月13日（木）に実施しました。天気は当日晴天でしたが、前日、奥多摩町のほうは雨天で、当日の多摩川は増水しており、残念ながら濁りが見られました。コースは、JR鳩ノ巣駅から白丸ダム魚道まで、アップダウンのある約2キロです。鳩ノ巣駅を出発し、雲仙峡、双竜の滝、水神社、鳩ノ巣小橋、そして鳩ノ巣溪谷遊歩道を歩いて白丸ダム魚道管理棟の施設見学をし、解

散するというコースです。毎回、奥多摩観光協会の名人・達人ガイドが同行し、観光名所の鳩ノ巣の名前の由来や歴史などを案内していただきます。一般参加者が28名、スタッフが21名、総勢49名で散策いたしました。一般参加者の中には、70歳を超える方もいらっしゃいました。アンケート結果では、95%の方が「参加して良かった」と回答しています。解散地点の白丸ダム魚道は、魚がのぼりやすい川づくりの推進事業部の事業の一環として、平成14年に完成した、高低差約27メートル、長さ約331.8メートルと、日本最大級クラスの魚道です。実際に魚道の観察窓からは、ヤマメやアユなど、遡上を観察することができます。また、手続きは必要ですが、テレビドラマや映画撮影だけでなく、最近では、水道局がインフラツーリズムの見学コースに組み入れるなど、魚道としてだけではなく、別な面でも使用されることがあります。白丸ダム魚道は、11月まで、毎週土日曜祝日に開館しています。ぜひ奥多摩白丸ダム魚道に足をお運びください。

これから、今年実施した「川を歩こう」の様子を見ていただきますが、「川を歩こう」のPR用に作成したビデオ編集なので、多少、まとまりが悪くなっております。あらかじめご了承ください。それでは、ビデオをご覧ください。

— ビデオ放映（15分） —

「川を歩こう」は毎年実施しております。来年度も多くの方にご満足いただけるような行事にしたいと思います。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発課長 梶田 俊樹 様)

ビデオを見て、感動しました。堰の横に魚道はありますが、白丸ダムのように300メートルを超すような大規模な魚道は初めて見ました。他にもあるのでしょうか。

(東京都西多摩建設局 建設技術マイスター 樋高 政司 様)

平成4年に、国土交通省が「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」として指定しました。この施設は平成13年に完成し、東京都が管理を引き継ぎました。白丸ダム魚道の延長は332メートルあり、日本全国でここだけです。この魚道の形式は、ストリーム式といい、皆さんが普段ご覧になるプール式（水を貯めて階段状にあがり、魚が休むスペースがある）のほうが一般的です。この魚道

に6000匹のアユを放流しましたが、一匹も遡上できませんでした。ハヤ等は遡上するようですが、アユには人気がないようで、失敗だったのかなと思います。

魚の生態系を守るためには、魚道は絶対に必要です。大雨が降ると、河床が掘られ、護岸が削られ、いずれ護岸が崩壊しますが、それを防ぐために、川の途中に堰が設置されています。堰は我々の生活に必要なものですが、堰を作ることによって、魚が遡上できません。そのために魚道を設置しています。白丸ダム魚道のパンフレットをお持ちしましたので、よろしければ帰りにお持ち帰りください。

なお、「川を歩こう」は、毎年5月にホームページで公募します。多摩川コースの募集は50名です。多摩川フォーラムの皆さんも、ぜひ来年はご参加ください。

(事務局)

他に質問はございますか。

(秋川漁業協同組合 代表理事組合長 安永 勝昭 様)

多摩川の堰についてお話がありましたが、多摩川には17～18の堰があり、春になると、マスコミが決まったようにアユの遡上を取り上げます。しかし、堰を遡上する度にアユの数は半減し、昭和用水堰にはほとんどいません。堰の下で滞留しているのです。今年はベトナム人と中国人が密漁していました。多摩川フォーラムでは上流部でのPRが多いですが、大田区からあがってくる環境を改善しないと多摩川は良くならないと思います。ちなみに大田区では、シジミが採れます。ぜひ多摩川フォーラム有識者の方が、多摩川をより良くするのであれば、堰の改善に力を入れていただきたいと思います。11月と12月に秋田と青森に行ってきましたが、地方の方が、ようやく多摩川について質問をしてくれるようになりました。テレビを通じて多摩川を宣伝すると、全国に拡がるのが分かりました。堰を設計した時には機能していたと思いますが、日本は台風などの自然災害が多く、川の流れは絶えず変わっています。それゆえに、堰の魚道が完全に機能していないところもあります。東京都に情報を発信したりもするのですが、一部が国交省の管轄だったりして、なかなか上手くいきません。皆さんの声を大にして、東京都や国交省に、堰を改善してほしいということをお願いしたいと思います。

多摩川で遡上するアユを新聞が取り上げると、いかにも美味しそうなアユに見えますが、青梅下流部まであがってくるアユは臭いです。全国の利き鮎大会に出しても賞は取れません。それをアユとして売る人もいますが、多摩川が日本の食文化を潰すのではないかと思いますので、下水道にも目を向けていただきたいです。多摩川の中流部の水の60%は下水道処理水です。残りの40%は、大雨などのオーバーフローした水ですから、決してきれいな水ではありません。こういったことを、フォーラムを通じて改善していただきたいと思います。

(事務局)

お時間の関係もありますので、質問はもう一人だけお願いします。

(渡邊部会長)

質問は2点です。東京都の中小河川は、毎時50ミリの雨に耐えられるよう工事していると聞いています。近所の霞川も、大雨で決壊しそうになりました。50ミリの耐えられる川の工事が終わり、次の段階に入っているのかどうか、お聞かせください。

また、霞川にはカワセミが沢山います。朝からカワセミを狙うカメラマンや、地域でも関心を持つ方が多いです。残堀川ではカワセミの巣を作ったと聞きました。それが上手く機能しているのかどうか、他にも要望があれば、東京都として他の川でも工事をしてもらえるのかどうか、お聞かせください。

(東京都西多摩建設局 建設技術マイスター 樋高 政司 様)

東京都では霞川での50ミリの改修を進めておりますが、実は残念なことに、埼玉県と繋がっており、埼玉県側では工事が進んでおりません。東京都ではその間、霞川で調整池を作り、コントロールしているのが現状です。

次に残堀川についてですが、瑞穂町役場前の川に巣を作っています。鳥は蛇が一番怖いので、護岸の後ろに粘土を固め、ギリギリで掘れるようにしてあります。それを2カ所作りましたが、営巣しています。瑞穂町全体が一生懸命で、川の中に止まり木も作り、鳥は一旦そこにとまり、様子を見てから巣の中に入ります。巣の前には必ず止まり木が必要になります。市や町が管理するのであれば、東京都で作るのはやぶさかではありません。しかし、営巣の管理は大変だと思います。

(事務局)

まだまだ質問があると思いますが、お時間の関係で質疑応答を終了します。菊池様、樋高様に今一度拍手をお願いします。なお、樋高様はご公務のため、ご退席されます。有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。

(1) 多摩川“水”大学講座開催(10/20、11/17最終回)【資料1】

- ・ 【資料1】をご覧ください。6年目となる今年度は、小金井市様との共催のもと、5月19日に開講しました。引き続き小倉副会長に講師をお願いし、水環境に関するリーダーの養成を目指しました。なお、第7回目となる来年度につきまして

も検討を始めたところです。本件につきまして、小倉副会長に一言お願いします。

(小倉副会長)

11月17日に全6回を終了しました。修了者は9名で、1回～6回までの延べ修了者は78名です。

(3) 第10回・多摩川一斉水質調査レポート完成 (11/1) 【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。6月4日に実施された多摩川一斉水質調査の最終結果報告書が纏まりました。当初より、小倉副会長にご指導いただいております。今年で第10回を数えました。今回は小倉副会長に特別にコメントをいただいております。水質調査結果につきまして、小倉副会長にご説明をお願いします。

(小倉副会長)

この目的は、身近な水環境を自ら調べることによって、水環境を考えて保全をしていくもので、10回目を迎えました。多摩川流域では合計392地点で実施され、結果は3段階で表示し、分かりやすいものとなっています。これはあくまで年1回の結果であるということをお念頭にいただきたいと思います。なお、全国では、延べ14回行われ、延べ地点数は75,000地点、延べ参加者は99,700人あまりとなりました。

(事務局)

有り難うございました。なお、当日は、渡邊環境清流部会長、山崎運営委員に、採水・測定のご協力をいただきました。どうも有り難うございました。

(4) 多摩川流域11自治体交流イベントラリーに協力 (5/27～11/4) 【資料4】

- ・ 【資料4】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。およそ半年に及ぶ多摩川11自治体交流イベントラリーが終了しました。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室の西村様に一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当 主事 西村 亜輝彦 様)

本年も無事実施することができました。はじめの府中市さんから、最後の小菅村さんまで、多摩川流域の11自治体が連携して実施しました。このラリーに2つ以上参加すると、豪華景品に応募できます。昨年の参加者は840人程度でしたが、今年は860人程度の応募がありましたので、徐々に浸透してきているのかなと思います。全部制覇した方は把握しておりませんが、10ヵ所に参加している方は何人かいらっ

しゃいますので、下流から上流までまんべんなく参加していただいております。来年度以降も、多摩川フォーラムさんの協力をいただきながら実施してまいりたいと思います。

(5) 平成29年度・第1回運営委員会開催 (11/9) 【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。議案として、美しい多摩川フォーラム「御岳の森・自然体験塾」木柵の改修工事について、が承認されました。また、10月の各活動部会で意見交換された3案のシンボルマークですが、最終的に、このシンボルマークに決定しました。これは、美しい多摩川フォーラムの10周年を記念して、法人会員のアルピン株式会社様より無償でご協力いただいたものです。

(6) 第9回・美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11/11、11/18 雨天中止) 【資料6】

- ・ 【資料6】をご覧ください。今年度は、公益財団法人とうきゅう環境財団、藍澤証券株式会社、日本アジア証券株式会社の3団体が新たに加わり、参加団体は38団体となりました。11月11日には川崎市の多摩川河口で実施し、11月18日には多摩市と青梅市御岳の2ヵ所で実施する予定でしたが、前日の17日、翌日が雨天予報であったため、残念ながら中止としました。なお、東京急行電鉄様と、とうきゅう環境財団様、羽村市様、小田急電鉄様と連携して実施された狛江市様の取り組みについては、報告書を添付しておりますので、後ほどゆっくりとご覧ください。

(7) 大田区より第10回・寄付金の贈呈 (11/21)

- ・ 11月21日、松原大田区長様より、寄付金16万円が贈呈されました。これは、10月14日に雨天の中、スタートの大田区・丸子橋から世田谷区・二子橋の6キロに区間を限定して開催された第10回・たまりバー50キロ・RUN&WALK当日に集まった桜の植樹募金になります。なお、10周年の節目ということで、寄付金とあわせてRUN&WALK実行委員会より細野会長に感謝状が贈呈されました。

(8) 多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリー (11/25) 開催 【資料7】

- ・ 【資料7】をご覧ください。青梅市、羽村市、福生市、昭島市、八王子市、あきる野市の多摩川流域6市が連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会&ウォークラリーが11月25日に開催されました。本件につきまして、青梅市建設部計画保全課計画調整係の輪千係長に一言お願いします。

(青梅市 建設部 計画保全課 計画調整係 係長 輪千 徳也 様)

6市連携のもと、青梅市釜の淵公園から昭島市くじら運動公園までの17キロで、4つの堰を中継地点としたカヌー駅伝大会を、17チームの参加で開催しました。今回の大会では、新たに羽村取水堰からくじら運動公園までのウォークラリーも実施し、さらにくじら運動公園付近の川原でカヌー体験教室も合わせて実施しました。運営にあたっては、多摩川フォーラムからもご協力いただき、また、青梅市カヌー協会や青梅信用金庫さんからも多数のボランティアを出していただき、有り難うございました。また、多くの協賛や後援もいただきました。一部の中継地点で迂回等の対応をするという変更もありましたが、選手や関係者の協力もあり、事故も無く開催することができました。いくつかの課題も見つかりましたが、次回に向けて検討してまいります。なにより、当日は天気に恵まれ、最高のロケーションで開催できたことは本当に良かったと思います。来年も開催しますので、ご協力をお願いいたします。

(9) 第10回・多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/9) 【資料8】

- ・ 【資料8】をご覧ください。今年度は8組が参加し、紙芝居やパソコン、模造紙を用いた、多摩川に関する様々な発表がありました。今年からグランプリ、準グランプリを設け、グランプリには、⑦「多摩川連想ゲームPart 7～FINAL～」が、準グランプリには、③「絶滅危惧種を調べよう！」が選ばれ、表彰されました。受賞者には、小倉副会長よりオリジナルのトロフィーと賞状が授与されました。なお、現在アンケート集計中ですが、グランプリ、準グランプリを高く評価する一方、他にもユニークな賞があった方が良いといったご意見もあり、賞をもらえなかった子どもたちが可哀そうなど優劣を付けることにそもそも反対するご意見もありました。また、子どもたちが選ぶというやり方に大賛成とするご意見がある一方、大人も関与した方が良いといったご意見もありました。要は、何を大切にするかということだと感じました。今後、アンケートを整理し、改めて活動部会等で意見交換させていただけたらと存じます。当日のご感想等、小倉副会長に一言お願いいたします。

(小倉副会長)

グランプリ・準グランプリを表彰したことについて、評価が分かれるということですが、アンケート集計中ですので、私の意見は差し控えたいと思います。8組の子どもたちが参加し、発表を行い、大変心強いと思いました。今後、もう少し多くの子どもたちが参加できるような機会があれば良いと思いました。

(事務局)

有り難うございました。今年も、当日の子どもたちの進行をご指導いただいた山崎

教育文化副部会長に一言お願いします。

(山崎教育文化副部会長)

当日、子どもたちを指導しながら、順番通りに発表できるように見守ってまいりました。初めてこのシンポジウムを開催してから10年が経ち、これまで多くの子どもたちが色々な体験や新しい知識を得てきたと思います。評価を付けたというのは、10年の区切りを付けたという意味でもあります。今回の評価は、全て子どもが付けました。自分たちの発表以外に票を入れさせたので、大人の意見は一切入っていません。子どもたちは発表を良く見ていました。グランプリは9票、準グランプリは4票で、その他は3票、2票、1票、0票でした。今後については、アンケートの結果を見て検討したいと思いますが、評価をやめるのではなく、賞を増やせば良いのではないかと思います。皆さんも、来年は子どもたちの発表をぜひ見に来てください。

(事務局)

有り難うございました。事務局からの経過報告は以上です。渡邊部会長、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

事務局からの経過報告で、ご意見やご質問などございますか。ないようですので、本日の意見交換に入りたいと思います。

5. 意見交換（部会長）

(1) 平成30年度事業計画骨子（事務方素案）の主な実施内容について【資料9】

(渡邊部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

【資料9】をご覧ください。経済軸、環境軸、教育文化軸、総合軸に分け、基本的には継続事業が中心ということになります。若干補足しますと、経済軸①多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業・“美しき桜心の物語”の語り会は、日野市・高幡不動尊<金剛寺>で調整しております。③多摩川カヌー駅伝大会については、先ほど青梅市の輪千係長からお話がありました通り、来年は2年目になります。この事業は、東京都市町会助成金の2ヵ年目に当たります。金額は表示しておりませんが、今年度は10周年ということもあり、市長会の助成金500万円に、フォーラムから協力金として100万円を計上しています。2年目は協力金として20万円程度で検討を始めたところです。④多摩川夢の桜街道～札所見直し・携帯マップ改訂は、10周年記念

事業の一つとして、札所の見直しに着手することを皆さまにお約束させていただきました。リニューアルの公表時期は、平成31年春を予定しております。平成30年度の予算で、まずは携帯マップの改訂を行い、平成31年度の予算でホームページの全面改定に取り組む計画をしております。

次に環境軸ですが、③「美しい多摩川フォーラムの森」の整備（下刈りイベント等）については、本年9月に桜の記念植樹を行った1年後、桜を植樹した周辺の草を刈るイベントを行い、桜の生育状況を見てもらう機会を設けたいと計画しています。④多摩川“水”大学講座については、来年度も小倉副会長にお願いし、現在開催会場について検討中です。

続いて教育文化軸ですが、④「多摩の物語」の語り会は、今年度、10周年記念事業として、東京急行電鉄さんの全面的なご協力のもと、9月9日に二子玉川で実施しました。次の10年に向けて、定例事業にしようとして計画しております。開催月は9月、場所についてはこれから検討を始めます。

総合軸の②100年プラン・パンフレット改訂については、当初、平成30年の予算に組み入れておりましたが、記念誌の完成後に、記念誌の内容を踏まえ、パンフレットに反映させたいと考え、来年度の予算に計上する方向で検討しています。説明は以上です。渡邊部会長、よろしくお願いいたします。

(渡邊部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。特になければ、私から質問があります。今年開催した多摩川カヌー駅伝大会では、ウォークラリーも同時開催しましたが、来年度も実施する予定ですか。

(事務局)

青梅市の輪千様、答えられる範囲でよろしくお願いいたします。

(青梅市 建設部 計画保全課 計画調整係 係長 輪千 徳也 様)

この事業は、青梅市のスポーツ部が担当していますが、このウォークラリーは羽村市さんに全面的なご協力をいただきました。好評だったので、恐らく来年も同じような形で開催するのではないかと思います。詳しいことは把握しておりません。

(渡邊部会長)

有り難うございました。今年は何人がウォークラリーに参加しましたか。

(事務局)

約150名だったと記憶しています。実質3ヵ月しか準備期間がなかったので、十

分な広報は出来なかったのですが、6市の方を中心に、頑張って協賛企業を募りましたので、景品が大変豪華になりました。そのため、ウォークラリー参加者の半分以上に米5kgや地酒等の粗品が当たり、参加者には大変好評でした。

(渡邊部会長)

有り難うございました。他にないようでしたら、次に進めます。ドローンによる多摩川空撮映像の活用について、事務局から説明してください。

(2) ドローンによる多摩川空撮映像の活用について

(事務局)

この映像は、7月29日にシンポジウムで初公開した後、現在は多摩川フォーラムホームページとYouTubeにもアップし、全世界で閲覧可能になっています。せっかくこれだけのものを制作したのだから、もっとPRしたほうが良いというご意見が多数事務局に寄せられております。この映像の活用について、皆さんにご意見を伺いたいと存じます。始めに、約14分間の映像をご覧ください。

— ビデオ放映（14分） —

(事務局)

いかがでしたでしょうか。1点だけ補足します。この映像は、10周年記念事業の一つとして制作しました。今年の3月～4月、3日間かけて源流から河口までを撮影しました。制作にあたっては、前事務局長の宮坂不二生さんに、撮影からナレーション等、隅々までご指導をいただき、完成させました。渡邊部会長、よろしく願いいたします。

(渡邊部会長)

本来ならば、皆さんからご意見やご質問をいただくところですが、お時間ですので、活用についてご意見があれば、事務局にご連絡ください。その他、事務局からありますか。

(事務局)

はい、本日ご出席の野尻様が、『地盤災害の真相究明』というタイトルの本を自費出版される予定です。本日ご出席の皆さまに、梗概パンフレットを1部ずつ配布させていただきます。本件につきまして、野尻様より一言お願いいたします。

(野尻 明美 様)

スケッチを描きながら多摩川を歩いていると、色々分かることがあり、それをまとめたものが『地盤災害の真相究明』です。地震のメカニズムや、立川断層は本当にあるのかどうか等、7つの事が書かれていますので、ぜひお読みください。

(事務局)

有り難うございました。野尻様は、フォーラム設立当初から、多摩川夢の桜街道八十八ヶ所全ての桜のスケッチを描いていただき、展示会でもご協力をいただきました。本の話に加えて、淡彩スケッチ画に関心のある方は、野尻さんにお話してみてください。

6. 総括・閉会（副会長・部会長）

(小倉副会長)

「川を歩こう」のビデオは、多くの方が川に関心を持ち、歩いて行く様子が良く分かり、大変良い試みだと思います。ドローンによる空撮映像についても、多摩川の全貌を知る上で大変貴重なものなので、来年度に予定している“水”大学講座でも利用したいと思います。来年3月まで、運営委員会や三部会合同部会が予定されており、4月からは新たな活動が始まりますので、皆さまのご参加・ご協力をよろしく願います。

(渡邊部会長)

本日は、長時間にわたり、貴重なご意見をいただき有り難うございました。以上で本日の三部会合同部会を終了します。有り難うございました。

以 上